

日本写真学会・写真感光材料工業会共催 2022年度 PHOTONEXT 技術アカデミー

日本唯一最大スケールのプロと写真ビジネスのための展示会&セミナー『PHOTONEXT 2022』がパシフィコ横浜で開催され、これに合わせ、日本写真学会と写真感光材料工業会は、「出力と表現技術」「最新カメラシステムの技術動向」についての技術アカデミーを実施しました。

主催：(一社)日本写真学会、写真感光材料工業会

後援：株式会社プロメディア

協力：(公社)日本写真協会、(一社)日本写真文化協会、(協)日本写真館協会、(一社)日本写真映像用品工業会

日本フォトイメージング協会

日時：2022年6月7日(火) 10:00~17:00 (受付開始:9:30)

会場：パシフィコ横浜 展示ホール 2F 会議室 E24

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1 TEL 045-221-2166(交通案内)/045-221-2155(総合案内)

2022年度 PHOTONEXT 技術アカデミーは、新型コロナウイルス感染防止の処置を行い、定員一杯の参加を頂き、盛大に執り行うことが出来ました。

ここに、アカデミーの実施状況とアンケートで頂いた参加者の皆様からの声を紹介します。

アンケート結果

(1) 総合満足度*：88% (満足(100%)率：54%)

[*アンケート質問：満足(100%)、まあ満足(80%)、普通(60%)、やや不満(40%)、不満(20%)]

(2) 総合満足「自由記入欄コメント」

1	普段伺えない話が聞ける。
2	いつも興味深く、楽しいプログラムを準備して頂き有難うございます。今回も最新の画像・映像入出力のカメラ・プリンタ等について話が聞けて大変満足しております。
3	EOS R3 の機種が説明っぽくなくて良かった。1つでもこういう講演があると満足。
4	ミラーレス一眼各社フラッグシップ機の最新技術内容を聞くことが出来た。開発者から直接話を聞く機会は滅多に無いため、そう言った意味でも満足しています。
5	メーカーサイドの開発の話やフォトグラファー視点の実質的な話が聞けたので。
6	ここでしか聞けない開発の話が聞けて、どのような思想なのか理解が深まった。
7	新しいここだけの情報が少ない。性能が向上した真の理由が聞きたい。講演内容は素晴らしい。面白かったです。
8	カメラの内部構造について、より技術的な内容を聞くことが出来て大変良かった。カメラマンからの視点を聞くことが出来たのは良い機会だった。
9	入場者管理等、もう少し自動化しても良いのでは？

【講演プログラム】

【セッション I：出力と表現技術】

講演1：ハイブリッドインスタントカメラ「instax mini EVO」の開発

2021年12月に発売した「instax mini EVO」は、多彩な撮影を楽しめるコンパクトカメラであり、撮影画をその場でプリントでき、さらにスマートフォンプリンター機能も兼ね備えた、ハイブリッドな魅力を持つ商品である。商品化の狙いと開発技術を紹介した。



富士フイルム株式会社 イメージングソリューション事業部 イメージングソリューション開発センター
藤本 真一 氏

講演2：インクジェットプリンターSC-PX1VLの高画質化技術紹介

2020年に発売し、カメラグランプリ 2021 カメラ記者クラブ賞をいただきました写真プリンタ SC-PX1VLは、写真の黒と青の表現力を一段と増しています。その高画質化技術について、紹介した。



セイコーエプソン(株)P 商業・産業事業部 P 商業・産業企画設計部
藤森 幸光 氏

講演3：ライフワーク「瞬間の顔」について

2022年3月17日から3月28日にかけて、東京・新宿のOM SYSTEM GALLERYで、写真展「瞬間の顔 Vol.14」を開催した。この「瞬間の顔」シリーズは2007年3月に初めて開催し、回数を重ねること14回、撮り続けて15年で1000人を達成し最終回を迎えた。あらためて撮影をはじめたきっかけや被写体となった方々とのエピソードなど、これまでの歩みについて振り返りをしてきた。



写真家
山岸 伸氏

山岸 伸氏 紹介

1950年3月22日生、(社)日本写真家協会会員、(社)日本広告写真家協会会員、とがち観光大使。広告、ポスター、カレンダー、各レコード会社ジャケット撮影、各出版社写真集、各出版社紙写真、グラビア撮影、DVD製作など、多方面で活躍中。

【セッションII：最新カメラシステムの技術動向】

講演4：感動の瞬間を切り取る OM-1 の開発

OM デジタルソリューションズは、小型軽量システムによる高い機動力に高画質と高性能を兼ね備えたマイクロフォーサーズ規格準拠のミラーレス一眼カメラ「OM SYSTEM OM-1」を2022年3月に発売しました。本機は、唯一無二の顧客体験を提供する「OM SYSTEM」カメラのフラッグシップモデルとして、撮影者の創作意欲を掻き立て、どこへでも持ち出したいくなる軽快性と、撮りたいものが思い通りに撮れる感動を提供する製品です。新開発のデバイスと最先端のデジタル技術を結集し、センサーサイズの常識を覆す高感度、高解像の画質を実現したほか、AFや連写性能などの基本性能も従来機種から大幅に進化しています。さらに、これまで特殊な機材やスキルを必要とした高度な映像表現も、強化されたコンピューショナルフォトグラフィ機能により誰もが簡単に楽しめるようになり、多くのシーンで表現力豊かな撮影が可能です。本公演では、この次世代マイクロフォーサーズカメラ「OM SYSTEM OM-1」だけが実現できる世界について説明した。



OMデジタルソリューションズ株式会社 R&D EL システム開発
一寸木 達郎氏

講演5：ミラーレスデジタルカメラ「EOS R3」の開発

キヤノンは、フルサイズミラーレスカメラ「EOS R3」を2021年11月に発売しました。「EOS R3」は、デジタルカメラでは初となる視線入力AF機能を搭載し、新開発の裏面照射積層型CMOSセンサーと映像エンジンDIGIC Xにより、電子シャッター撮影時に、最高約30コマ/秒の高速連写と高画質を両立しています。また、縦位置グリップ一体型でありながら操作性の向上と軽量化、高い防塵・防滴性能の両立を実現しています。本講演では、「EOS R3」の開発の経緯や搭載技術について紹介した。



キヤノン株式会社 イメージコミュニケーション事業本部 ICB 製品開発センター
清田 真人氏

講演6：ニコン初フラッグシップフルサイズミラーレスカメラ「ニコン Z9」の開発

ニコンは、「ニコンZマウント」を採用した初のフラッグシップモデルとなる、フルサイズミラーレスカメラ「ニコン Z9」を2021年12月に発売しました。新開発の積層型CMOSセンサーと画像処理エンジン「EXPEED 7」により、ニコン史上最強のAF性能を実現。さらに、世界最多の9種類の被写体検出に対応。動画撮影においては、決定的瞬間を撮り逃さない高性能な8K、4K動画を搭載。また、過酷な状況でも多様なアングルで存分に撮影できる操作性・信頼性の向上。さらに従来の光学ファインダーや電子ビューファインダーの見えを超える電子ビューファインダー「Real-Live Viewfinder」を搭載しました。本講演ではZ9について紹介した。



株式会社ニコン 設計部 第四設計課
斉藤 義久氏

講演7：細部に宿る設計思想

“神は細部に宿る”という有名な格言がある。これは「細部まで作り込め」という意味ではなく、「細かいところまで観察してみると、コンセプトが見えてくる」という意味であると豊田は考えている。カメラやレンズは細部を観察してみるとその製品の開発思想がおぼろげながらではあるけれど、見えてくる。特にハイエンドモデルやフラッグシップモデルではより明確に細部に思想を刻み込んでいると考えている。最新のハイエンドモデルの作り込みを観察・比較し、設計者がどんなこだわりを持ってその形状や配置とし撮影者をサポートしているのか？について、豊田が考える「開発が配慮している・配慮出来ていない」ポイントを紹介した。



フォトグラファー
豊田 慶記 氏

豊田 慶記 氏 紹介

1981 年広島県生まれ、日本大学芸術学部写真学科卒業。カメラグランプリ外部選考委員、日本作例写真家協会会員、写真家。カメラ雑誌や web にて、レビューなど執筆。